2026年度 立命館大学 Challenge奨学金 中間交流会

AY2026 Challenge Scholarship Interim Meeting

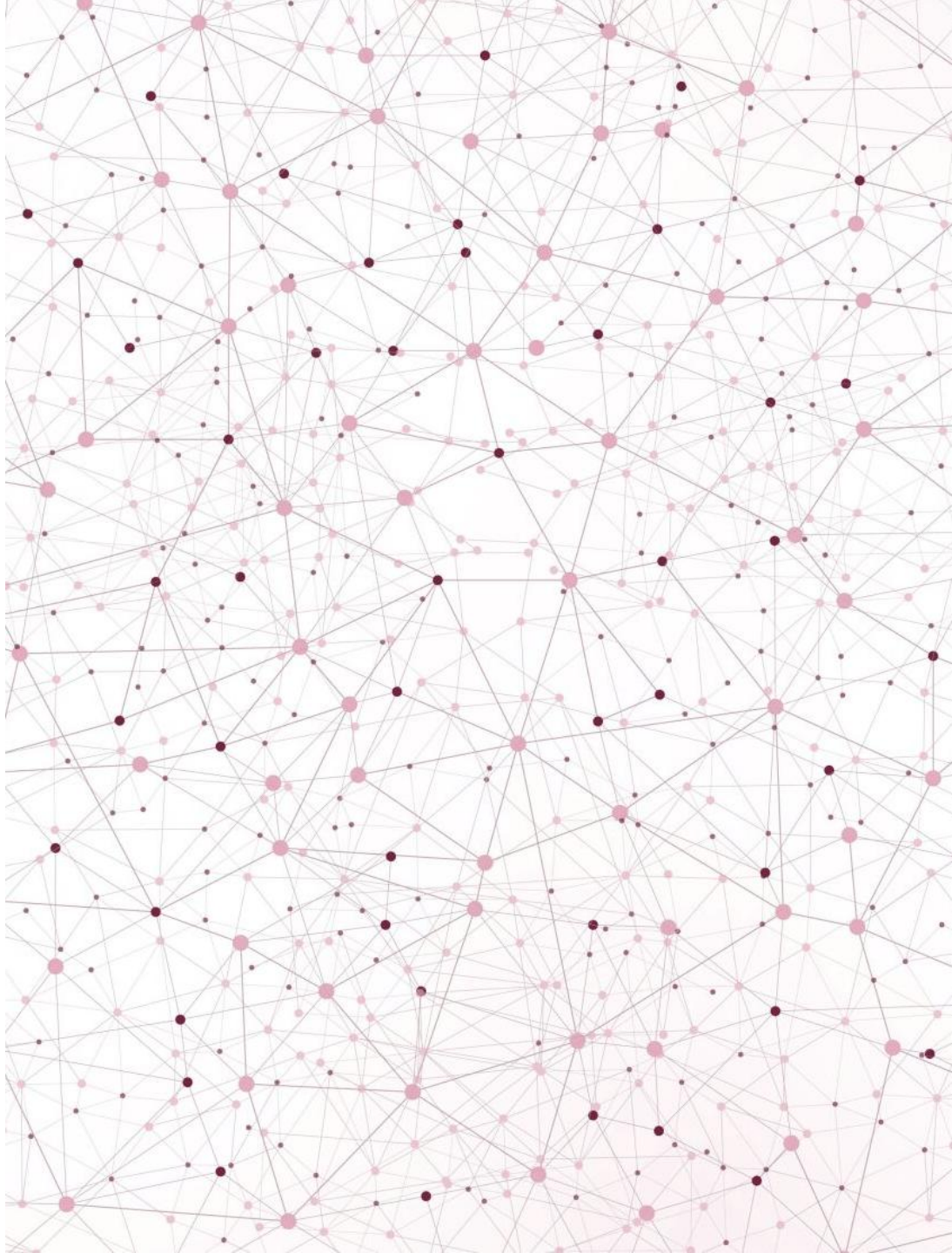
〈オンラインの方へ〉 / For online participants

・画面ONでご参加ください

Please keep your camera on.

・発言しないときはミュートにしてください

Please mute yourself when not speaking.



2026.9.25　学生オフィス / Student Office

①

	No.	所属	学部	回生	名前	テーマ	過年度
A	1	衣笠	国関	3		京都府城陽市寺田の地域活性化	
A	2	BKC	食マネ	4		酒蔵は地域教育拠点になりうるかー発酵文化から探る探究教育研究ー	
A	3	BKC	スポ健	4		ピックルボールを通じた滋賀県の学生スポーツ文化形成と地域健康増進活動	
A	4	衣笠	文	2		個人研究「戦国期信濃における城館構成～東筑摩・諏訪・佐久・小県・上伊那地域を対象に～」	2025
A	5	BKC	食マネ	1		食と喫茶空間を通して着物文化を身近にする活動	
B	6	BKC	食マネ	3		オランダ・イギリスのAW先進事例視察を通じた日本における持続可能な畜産モデルの研究と発信	
B	7	BKC	食マネ	1		ムスリム観光客向けのSNSやガイド制作を通じて日本のハラール対応飲食店を発信し、安心した食体験を提供	
B	8	OIC	政策	4		台湾の先進的性教育団体視察を通じた国内課題の探究とnote発信による社会還元	
B	9	BKC	食マネ	2		親子でお菓子作り体験ー体験機会の創出と親子間のコミュニケーション促進ー	
B	10	衣笠	産社	3		ユース世代の原動力を生かすパートナーシップについての研究 ～モザンビーク～	2024/2025
C	11	OIC	政策	3		食品ロスをテーマにしたカードゲームのデザイン刷新とワークショップを通じた食品ロス削減行動の促進	2025
C	12	OIC	政策	1		「こども・若者の声は、社会を変えられるのか」―こども基本法における意見表明権と政策をつなぐ挑戦―	
C	13	BKC	理工	4		BKCバス通学問題の実態調査：「若年交通弱者」の可視化と全国郊外型キャンパスとの比較	
C	14	BKC	生命	3		生成AIと形式検証を用いた数学証明自動採点システムの開発研究	
C	15	OIC	経営	2		ペットと人の安心な交流を支援するアプリ開発	
D	16	衣笠	文	4		自作の防災ボードゲームを世界へ	2025
D	17	BKC	食マネ	4		循環型ベーカリーによる地域内コミュニティ強化及び地域外からの来客による地域活性事業計画	
D	18	BKC	スポ健	1		スポーツ科学解析で紐解くクラシックバレエダンサーの審美的かつ機能的なマッスルデザインとその成果発信	
D	19	OIC	経営	2		脱毛症の方々が、自分に自信を持ち、ありのままの姿で生きることのできる世界を実現する発信・啓発活動	
D	20	BKC	理工	2		AIを用いて人流データの解析を行う取り組み	2024
E	21	衣笠	国関	3		Raising Public Awareness on Climate Change	
E	22	衣笠	国関	4		座位が規範として内面化されている日本教育の在り方を、フィンランド教育との比較を通じて考察する	2024
E	23	衣笠	産社	4		記憶を紡ぐ私たち。教科書では学べなかった記憶をたどり、過去との向き合い方を探る。	
E	24	衣笠	文	2		勝間田焼の消費地研究	
E	25	BKC	食マネ	4		ベトナムにおける外資系スーパーの台頭と伝統的市場の存続の危機ー日本式6次産業モデル化有効性の検証	

②

	No.	所属	学部	回生	名前	テーマ	過年度
A	1	衣笠	国関	3	[redacted]	京都府城陽市寺田の地域活性化	
A	2	BKC	食マネ	4	[redacted]	酒蔵は地域教育拠点になりうるかー発酵文化から探る探究教育研究ー	
A	8	OIC	政策	4	[redacted]	台湾の先進的性教育団体視察を通じた国内課題の探究とnote発信による社会還元	
A	9	BKC	食マネ	2	[redacted]	親子でお菓子作り体験ー体験機会の創出と親子間のコミュニケーション促進ー	
A	12	OIC	政策	1	[redacted]	「こども・若者の声は、社会を変えられるのか」ーこども基本法における意見表明権と政策をつなぐ挑戦ー	
B	5	BKC	食マネ	1	[redacted]	食と喫茶空間を通して着物文化を身近にする活動	
B	7	BKC	食マネ	1	[redacted]	ムスリム観光客向けのSNSやガイド制作を通じて日本のハラール対応飲食店を発信し、安心した食体験を提供	
B	10	衣笠	産社	3	[redacted]	ユース世代の原動力を生かすパートナーシップについての研究 ～モザンビーク～	2024/2025
B	11	OIC	政策	3	[redacted]	食品ロスをテーマにしたカードゲームのデザイン刷新とワークショップを通じた食品ロス削減行動の促進	2025
B	15	OIC	経営	2	[redacted]	ペットと人の安心な交流を支援するアプリ開発	
C	3	BKC	スポ健	4	[redacted]	ピックルボールを通じた滋賀県の学生スポーツ文化形成と地域健康増進活動	
C	4	衣笠	文	2	[redacted]	個人研究「戦国期信濃における城館構成～東筑摩・諏訪・佐久・小県・上伊那地域を対象に～」	2025
C	6	BKC	食マネ	3	[redacted]	オランダ・イギリスのAW先進事例視察を通じた日本における持続可能な畜産モデルの研究と発信	
C	13	BKC	理工	4	[redacted]	BKCバス通学問題の実態調査：「若年交通弱者」の可視化と全国郊外型キャンパスとの比較	
C	14	BKC	生命	3	[redacted]	生成AIと形式検証を用いた数学証明自動採点システムの開発研究	
D	16	衣笠	文	4	[redacted]	自作の防災ボードゲームを世界へ	2025
D	20	BKC	理工	2	[redacted]	AIを用いて人流データの解析を行う取り組み	2024
D	22	衣笠	国関	4	[redacted]	座位が規範として内面化されている日本教育の在り方を、フィンランド教育との比較を通じて考察する	2024
D	24	衣笠	文	2	[redacted]	勝間田焼の消費地研究	
D	25	BKC	食マネ	4	[redacted]	ベトナムにおける外資系スーパーの台頭と伝統的市場の存続の危機ー日本式6次産業モデル化有効性の検証	
E	17	BKC	食マネ	4	[redacted]	循環型ベーカリーによる地域内コミュニティ強化及び地域外からの来客による地域活性事業計画	
E	18	BKC	スポ健	1	[redacted]	スポーツ科学解析で紐解くクラシックバレエダンサーの審美的かつ機能的なマッスルデザインとその成果発信	
E	19	OIC	経営	2	[redacted]	脱毛症の方々が、自分に自信を持ち、ありのままの姿で生きることのできる世界を実現する発信・啓発活動	
E	21	衣笠	国関	3	[redacted]	Raising Public Awareness on Climate Change	
E	23	衣笠	産社	4	[redacted]	記憶を紡ぐ私たち。教科書では学べなかった記憶をたどり、過去との向き合い方を探る。	

本日の流れ / Agenda

○18:00-20:00

目的・内容の説明	Purpose and overview	(10 min)
グループワーク×2	Group work	(30 min×2)
グループワークの共有	Sharing of group work	(25 min)
振り返り	Reflection	(15 min)

※進行によっては随時変更する場合があります。

*The schedule may change depending on how the session proceeds.

本交流会の目的 / Purpose

〇中間交流会の目的 / Purpose

・情報交換　Exchanging information among recipients

・活動の振り返り　Reflecting on your activities

〇交流会を終えたときのゴール / Goals

・自分の活動の現在地と、これから取り組むことが整理できている

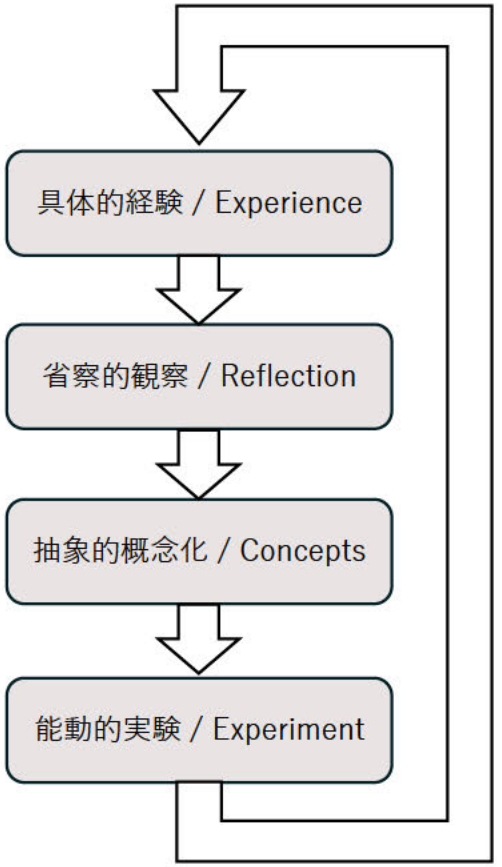
Clarify where your project stands and what comes next

・他のメンバーから、活動に活かせるヒントを一つ以上持ち帰る

Take away at least one useful idea from others

※振り返り、教訓を得て次に活かすことで学びが深まります

Reflection deepens learning.



コルブ（kolb,1984）のモデルより作成 / Based on Kolb (1984)

グループワーク説明 / Group Work

・グループ分け / Grouping

1巡目：活動内容　Round 1: by activity theme

2巡目：現在の課題　Round 2: by current challenges

・1グループ5名程度、30分×2巡、皆さんで進行してください。

About 5 people per group, 30 min × 2 rounds
Please run the discussion yourselves.

・オブザーバーとして事務局の職員が各班を回ります。

Office staff will visit each group as observers.

グループワーク説明 / Group Work

〇役割 / Roles

・ファシリテーター Facilitator（1番上の方 / 1st）

・発表者 Presenter（2番目の方 / 2nd）

・タイムキーパー Timekeeper（3番目の方 / 3rd）

・記録① Note-taker 1（4番目の方 / 4th）

・記録② Note-taker 2（5番目の方 / 5th）

2巡目は、なるべく1巡目と
役割が同じにならないよう、
各自調整してください。
Try a different role in Round 2.

※5人以下の場合は下から順に役割を削り、記録係が0人ならタイムキーパーが兼任してください。

*With fewer than 5 people, drop roles from the bottom; the timekeeper can also take notes.

グループワーク説明 / Group Work

〇流れ / Flow

①自己紹介 Self-introduction

・氏名、学部、回生
　/ Name, faculty, year

・取組について / Your project

・聞いてみたいこと
　/ Questions for others

➡1人2-3分×5 → 10-15分

②意見交換 Discussion

・自己紹介の中で挙がった「他の受給者に聞いてみたいこと」について
　On the questions raised during the self-introductions

・アイデアやアドバイスの交換
　Exchange ideas and advice

➡15分 / 15 min

グループワーク１巡目 / Round 1

グループワーク２巡目 / Round 2

グループワークの共有 / Sharing

・グループで話したことを発表してください。

Please present what your group discussed.

–グループワークで共有されたグッドプラクティス

Good practices shared in the group work

–いろいろな悩み・課題やそれに対するアドバイス

Concerns and challenges, and the advice given

・発表を聞いている方は、今後の活動に活用してください。

Please use what you hear in your own activities.

事務連絡① / Notices (1)

〇アンケートについて / Survey

以下のURLよりご回答ください。

Please answer the survey at the URL below.

https://cw.ritsumei.ac.jp/campusweb/SVA20D0.html?key=SUR20260904094041237102958

〇**成果報告会**について / Final Report Session

・日時 Date：**2027年3月4日（木）13:00~15:30**

・場所 Venue：**OIC** H324

・備考 Note：対面とオンライン（可能な限り対面参加をお願いします）

In person and online (please attend in person if possible)

事務連絡② / Notices (2)

〇提出資料 / Documents to submit

【提出期限 Deadline：**12月4日（金）12:00**】

- **中間経費一覧書 Interim expense report**

【提出期限 Deadline：**2月26日（金）12:00**】

- **成果報告書 Final activity report**
- **経費一覧書 Expense report**
- **成果まとめスライド Summary slides**

中間経費一覧書の提出締切までに
すべての経費を執行している必要は
ありません！
No need to spend all funds by then.

事務連絡③ / Notices (3)

〇活動の変更 / Changes to your activity

活動を変更する際は、早急に学生オフィスと相談してください。

If you change your activity, please consult the Student Office promptly.

〇オンラインでのイベント広報ツールの案内 / Online publicity tool

皆さんの活動にかかわるイベント告知や成果報告を「成長支援型奨学金HP」にて実施しています。

We post your event notices and activity results on the scholarship website.

https://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/activity/

希望される方はご相談ください。 Please contact us if interested.

事務連絡④ / Notices (4)

○ツールの紹介 / Support tools

SSP
Student Success Program

Student Success Program

どんなサポートがあるの？

大学での学びに役立つツールや、セミナー、オンデマンド動画、
学生の工夫集、個別相談等様々なサポートがあります。
詳細はサポート一覧から！

SSPのホームページ
SSP website

インスタもフォローしてね
Follow us on Instagram





記念撮影 / Group Photo

ご参加いただきありがとうございました！
Thank you very much for joining us!